

第5 後方支援活動訓練

1 主 眼

- (1) 各都県の後方支援活動要領に基づく効率的な後方支援活動により、緊急消防援助隊の自己完結能力の向上を図る。
- (2) 複数の都県大隊が同一又は隣接する宿営地を利用する場合、各都県の後方支援中隊相互の調整及び協力により円滑な後方支援活動の実施を図る。
- (3) 宿営地では、多くの隊員が共同で食事、休憩等を行うことから、各種感染症からの汚染・感染を予防するデコンタミネーションを強化し、その有効性を検証する。
- (4) 宿営地において、民間団体と連携した燃料補給体制を構築する。

2 宿営地設置・運営訓練

(1) 日 時

令和 6 年11月13日（水）後方支援中隊が宿営地に参集してから

令和 6 年11月14日（木）午前12時00分までに完全撤収（原状復帰）

(2) 場所、参加者

宿営地		敷地面積	参加都県	台数	人員
日本競輪選手養成所	250 ピスト	2,947 m ²	東京都	32 台	119 人
	400 ピスト	7,400 m ²			
さつきヶ丘公園	陸上競技場	10,500 m ²	栃木県	24 台	92 人
			神奈川県	56 台	207 人
御殿場プレミアム・アウトレット	駐車場No.11	4,000 m ²	群馬県	18 台	48 人
	駐車場No.12	4,500 m ²	茨城県	30 台	108 人
	駐車場No.20	6,300 m ²	埼玉県	39 台	138 人
にちれんしょうしゅう 日蓮正宗総本山 たいせきじ 大石寺	東山駐車場 B	4,600 m ²	山梨県	26 台	97 人
	東山駐車場 C	6,600 m ²	千葉県	36 台	141 人
	東山駐車場 D	6,800 m ²	長野県	27 台	89 人

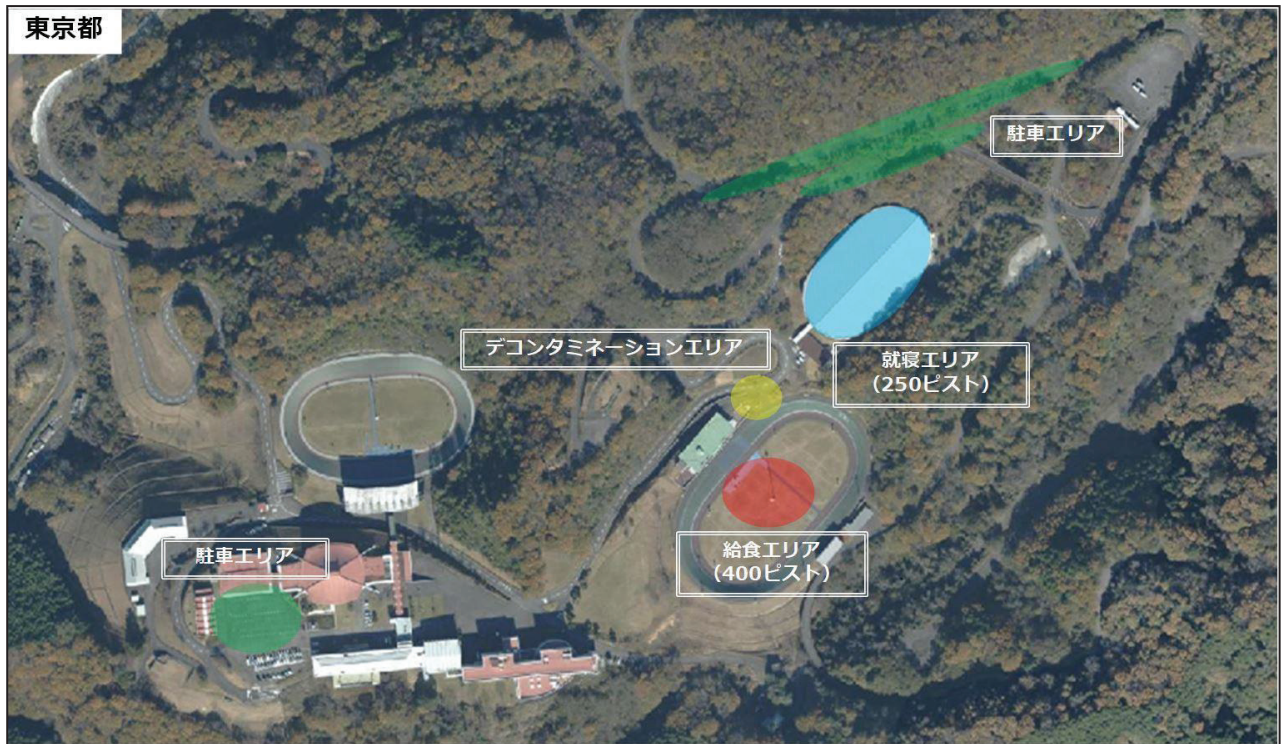
※ 国土交通省沼津河川国道事務所が保有する照明車でさつきヶ丘公園陸上競技場を照射

(3) 訓練内容

- ア 各都県大隊長は、各都県大隊の応援計画等に基づき、あらかじめ後方支援中隊長を指定
- イ 後方支援活動は、各都県大隊内で自己完結し、一体的かつ効率的に行った。
- ウ 各都県の後方支援中隊長は、同一又は隣接する宿営地を利用する他都県の後方支援中隊長と相互に協力し、円滑な後方支援活動を行った。
- エ 宿営地における着替え、給食、休憩場所等のエリア分けを明確に行った。
- オ 女性職員が参加した部隊は、女性活躍推進を踏まえた宿営レイアウト等の検証を行った。
- カ 令和 6 年能登半島地震の教訓を踏まえて冬期の宿営を想定した資機材を準備した。
- キ 車両駐車及び資機材搬入は、被災地消防本部職員の指示に従い、他都県大隊と調和を図りながら円滑に行った。

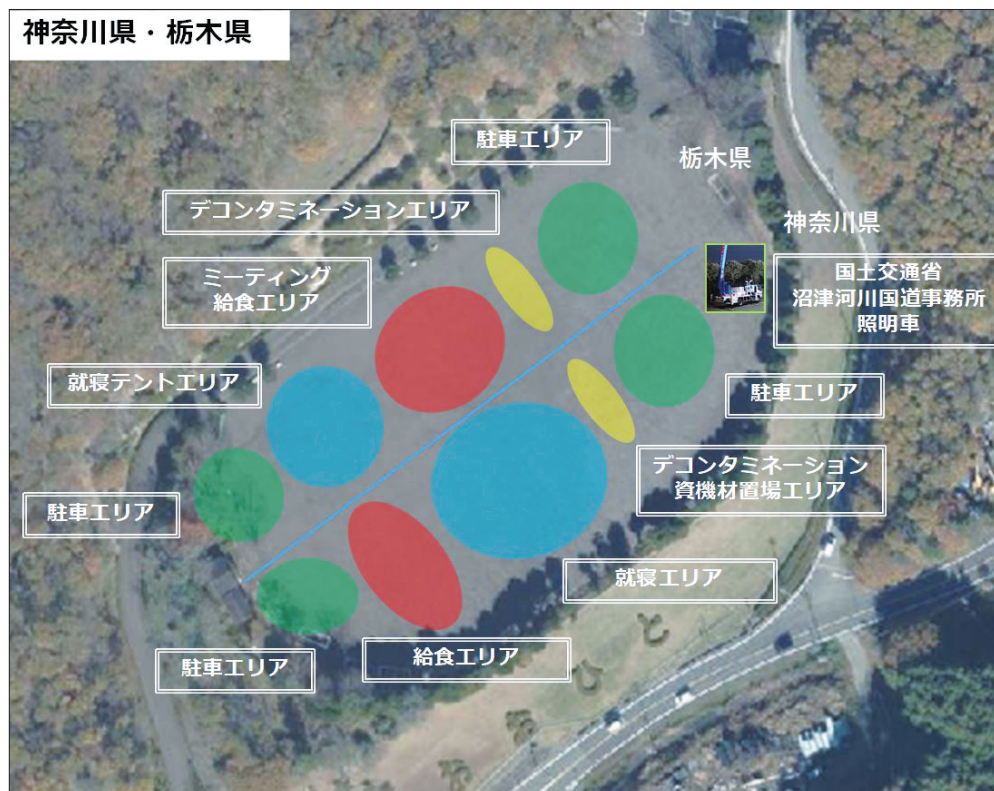
(4) 実施状況

日本競輪選手養成所 250ピスト、400ピスト



情報共有の状況	後方支援資機材搬入状況
給食訓練	屋内での宿営訓練

さつきヶ丘公園 陸上競技場



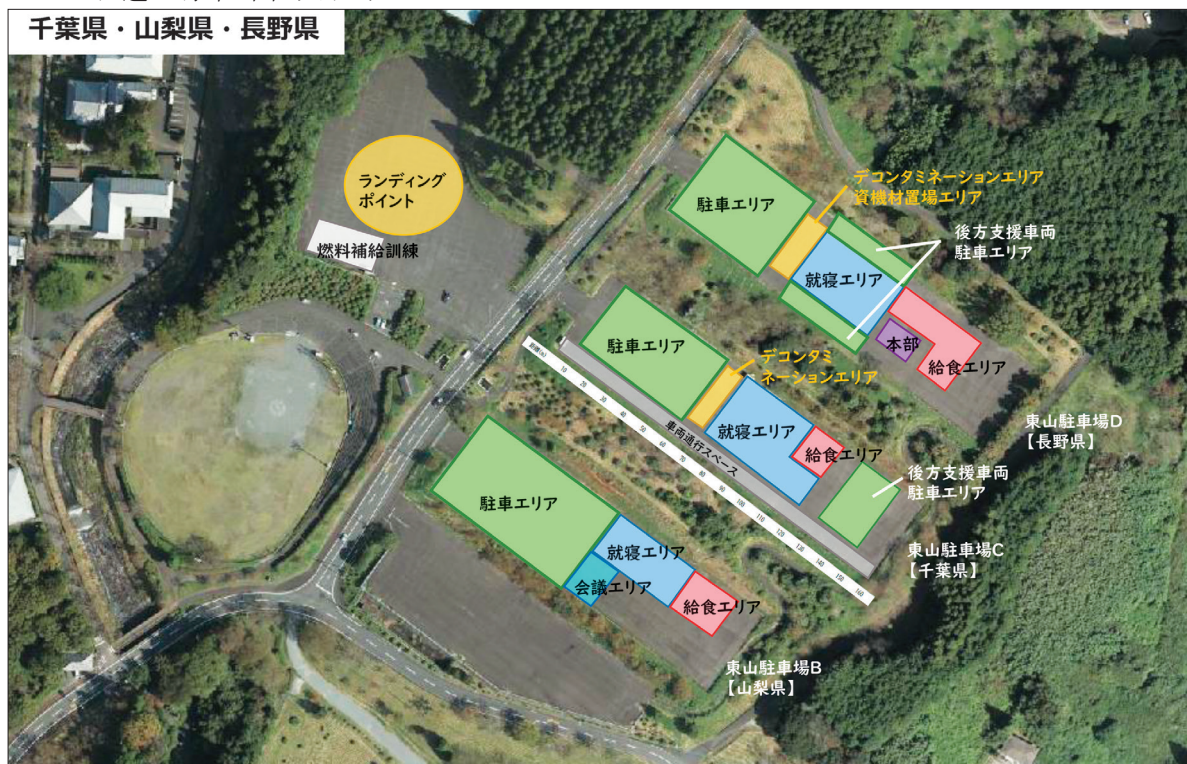
後方支援会場全景	駐車車両の状況
	
給食訓練	国土交通省照明車
	

御殿場プレミアム・アウトレット駐車場



にちれんしょうしゅう たいせきじ
日蓮正宗総本山大石寺

千葉県・山梨県・長野県



宿営地の設定



給食エリアの状況



就寝エリアの状況



3 感染症予防（デコンタミネーション）訓練

(1) 日 時

令和6年11月13日（水）後方支援中隊が宿営地に参集してから

令和6年11月14日（木）午前12時00分までに完全撤収（原状復帰）

(2) 場 所

ア 日本競輪選手養成所

イ さつきヶ丘公園

ウ 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場

エ にちれんしょうしゅう 日蓮正宗総本山 たいせきじ 大石寺東山駐車場

(3) 訓練内容

後方支援中隊は宿営地に、デコンタミネーションエリアを設け、汚染・感染予防等を考慮した後方支援活動を行った。

(4) 実施状況

日本競輪選手養成所	さつきヶ丘公園
	
御殿場プレミアム・アウトレット駐車場	にちれんしょうしゅう 日蓮正宗総本山 たいせきじ 大石寺東山駐車場
	

4 燃料補給訓練

(1) 日時、場所、参加者

日 時	場 所	参加者	民間石油業者
令和 6 年11月13日 (水) 13時30分～14時00分	さつきヶ丘公園	栃木県 (燃料補給車、資機材搬送車、支援車Ⅲ型) 神奈川県 (燃料補給車)	(株) ナガクラ
令和 6 年11月13日 (水) 15時30分～16時00分	御殿場プレミアム・ アウトレット駐車場 No.24	茨城県 (資機材搬送車) 群馬県 (携行缶) 埼玉県 (携行缶)	(有) 中村石油
令和 6 年11月13日 (水) 16時00分～16時25分	にちれんしょうしゅう 日蓮正宗総本山 たいせきじ 大石寺塔の原駐車場	千葉県 (携行缶) 山梨県 (携行缶) 長野県 (支援車Ⅰ型)	駿河石油 (株)

(2) 訓練内容

民間石油業者の移動タンク貯蔵所 (タンクローリー) による軽油給油訓練

- ア 指定した場所・時間に補給する車両 (民間) で入場
- イ アースの確保等、安全対策の準備
- ウ 補給を必要とする消防車両の入場
- エ 給油開始
- オ 支払い・領収証の発行
- カ 退場
- キ 使用した資機材の撤収 (原状復帰) が完了した時点で訓練終了

(3) 実施状況

さつきヶ丘公園	御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.24
	
にちれんしょうしゅう たいせきじ 日蓮正宗総本山大石寺塔の原駐車場	
	

第6 関係機関連携訓練

1 主 眼

- (1) 令和4年6月3日付け消防参第128号「大規模災害時の救助・捜索活動における関係機関連携要領の策定及び積極的な活用について（通知）」のToDoリストの活用
- (2) 被災地消防本部、消防団、静岡県内消防応援隊及び緊急消防援助隊は、救助活動等の現場において、警察、自衛隊、国土交通省、DMAT、その他の関係機関と緊密に連携する。

2 現地合同調整所設置・運営訓練

- (1) 設置日時、場所、参加者

設置日時	場 所	参加者
令和6年11月13日（水） 14時30分～17時00分 令和6年11月14日（木） 8時30分～10時40分	あまぎ 天城ふるさと広場	被災地消防本部 静岡県内消防応援隊 緊急消防援助隊 陸上自衛隊（第34普通科連隊） 認定NPO法人災害救助犬静岡 静岡DMAT （一社）静岡県建設業協会 国土交通省沼津河川国道事務所
令和6年11月13日（水） 14時45分～17時00分 令和6年11月14日（木） 8時45分～10時00分	たちいわ 立岩石材興業（株） スコリア工場	被災地消防本部 緊急消防援助隊 陸上自衛隊（第34普通科連隊） 静岡県警察本部
令和6年11月13日（水） 12時00分～15時30分 令和6年11月14日（木） 7時30分～10時30分	二葉建設（株） 東山工場	被災地消防本部 緊急消防援助隊 陸上自衛隊（第34普通科連隊） 認定NPO法人災害救助犬静岡 静岡DMAT
令和6年11月13日（水） 13時40分～16時30分 令和6年11月14日（木） 7時30分～10時30分	田貫湖	被災地消防本部 緊急消防援助隊 静岡県警察本部 国土交通省静岡国道事務所 静岡県生コンクリート工業組合

- (2) 訓練内容

- ア 被災地消防本部は、関係機関との情報共有及び活動調整を行うため、現地合同調整所を設置
- イ 被災地消防本部の現場責任者、統括都県大隊長、都県大隊長及び関係機関の現場責任者は、現地合同調整所に集結し、活動エリア、活動内容、手順等の調整を行った。

(3) 実施状況

現地合同調整所（ ^{あまぎ} 天城ふるさと広場）	現地合同調整所（ ^{たちいわ} 立岩石材興業（株）スコリア工場）
	
現地合同調整所（二葉建設(株) 東山工場）	現地合同調整所（田貫湖）
	

3 活動調整会議訓練

(1) 日時、場所、参加者

日 時	場 所	主 催	参加者
令和6年11月13日（水） 18時00分～18時15分	天城 ^{あまぎ} ふるさと広場 体育館 (仮想伊豆市役所)	駿東伊豆 ^{すんとう} 消防本部	相模原市消防局指揮支援隊 静岡県内消防応援隊指揮支援隊 陸上自衛隊（第34普通科連隊） 静岡県警察本部 静岡DMAT
令和6年11月13日（水） 17時00分～17時30分	御殿場プレミアム・ アウトレット駐車場 No.20 (仮想御殿場市役所)	御殿場市・小山町 ^{おやま} 広域行政組合 消防本部	名古屋市消防局指揮支援隊 陸上自衛隊（第34普通科連隊） 認定NPO法人災害救助犬静岡 静岡DMAT
令和6年11月13日（水） 17時15分～17時30分	田貫湖 (仮想富士宮市役所)	富士宮市 消防本部	浜松市消防局指揮支援隊 静岡県警察本部 国土交通省静岡国道事務所

(2) 訓練内容

- ア 1日目の部隊運用訓練終了後、消防の各部隊が警察、自衛隊等の関係機関と被害状況、活動状況等の情報を共有した。また翌日の捜索開始時間や活動方針等の調整も行った。
- イ 本来、活動調整会議は被災地の市役所庁舎で開催することが基本となるが、今回の訓練では訓練進行の都合上、各訓練会場を市役所と見立てて活動調整会議を開催した。

(3) 実施状況

活動調整会議状況（仮想伊豆市役所）



活動調整会議状況（仮想御殿場市役所）



活動調整会議状況（仮想富士宮市役所）



4 現場活動連携訓練

(1) 日 時

令和6年11月13日（水）訓練参加部隊が活動を開始した時間から

令和6年11月14日（木）訓練参加部隊が要救助者の救出及び搬送を完了した時間

(2) 場 所

ア 天城^{あまぎ}ふるさと広場

イ 立岩^{たちいわ}石材興業（株）スコリア工場

ウ 二葉建設（株）東山工場

エ 田貫湖

(3) 参加者

ア 被災地消防本部

⑦ 富士山南東消防本部

④ 駿東伊豆^{すんとう}消防本部

⑦ 御殿場市・小山町^{おやま}広域行政組合消防本部

⑤ 富士宮市消防本部

イ 静岡県内消防団

ウ 静岡県内消防応援隊

エ 緊急消防援助隊

都県大隊、土砂・風水害機動支援部隊、NBC 災害即応部隊

オ 関係機関

⑦ 陸上自衛隊（第34普通科連隊）

④ 国土交通省（沼津河川国道事務所、静岡国道事務所）

⑦ 静岡県警察本部

⑤ 静岡DMAT

⑧ 認定NPO法人災害救助犬静岡

⑧ （一社）静岡県建設業協会

⑧ 静岡県石油商業組合

⑧ 静岡県生コンクリート工業組合

(4) 訓練内容

消防の各部隊は、現地合同調整所や活動調整会議で決定した方針を基に、救助活動等の現場で、自衛隊、警察、DMAT、災害救助犬と連携した活動を行った。

(5) 実施状況

伊豆エリア（土砂災害救助訓練）	御殿場エリア（土砂災害救助訓練）
 	 
伊豆エリア（座屈倒壊建物救助訓練）	富士宮エリア（活動調整会議訓練）
	
富士宮エリア（浸水害救助訓練）	富士宮エリア（大規模火災消火訓練）
	

第 7 視 察

緊急消防援助隊の協働・連携体制を把握し、隊員の士気高揚を図るため、訓練視察を実施した。

1 日 時

- (1) 令和 6 年11月13日（水）午後 2 時30分から午後 5 時30分まで
- (2) 令和 6 年11月14日（木）午前 9 時30分から午前10時40分まで

2 場 所

- (1) 天城^{あまぎ}ふるさと広場
- (2) 立岩^{たちいわ}石材興業（株）スコリア工場
- (3) 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場
- (4) 田貫湖

3 視察者

- (1) 総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室長
- (2) 静岡県副知事
- (3) 伊豆市長、富士宮市長、御殿場市危機管理監

4 随行者

- (1) 総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室長補佐
- (2) 静岡県実行委員会委員長（静岡県危機管理監）
- (3) 静岡県危機管理部長兼危機管理監代理
- (4) 静岡県実行委員会副委員長（静岡県危機管理監代理兼危機管理部部長代理）

5 視察状況

田貫湖	御殿場プレミアム・アウトレット駐車場
	
あまぎ 天城ふるさと広場	たちかわ 立岩石材興業（株）スコリア工場
	

第 8 車両展示

緊急消防援助隊を広く PR するため、緊急消防援助隊無償貸与車両等の展示を行った。

1 日時、場所、参加者等

日 時	場 所	参加者	展示車両
令和 6 年 11 月 13 日（水） 15 時 00 分～18 時 30 分	御殿場プレミアム・アウトレット バスロータリー	緊急消防援助隊 （茨城県、群馬県、埼玉県） 国土交通省 沼津河川国道事務所	支援車Ⅰ型 救助工作車Ⅱ型 小型救助車 電源照明車
令和 6 年 11 月 13 日（水） 14 時 30 分～16 時 30 分	日本大学生物資源科学部富士自然教育センター	被災地消防本部 緊急消防援助隊 （千葉県、山梨県、長野県） 国土交通省静岡国道事務所	機動連絡車 大型放水砲搭載ホース 延長車 大容量送水ポンプ車 拠点機能形成車 支援車Ⅰ型 支援車Ⅲ型 電源照明車
令和 6 年 11 月 14 日（木） 9 時 00 分～10 時 30 分		被災地消防本部 緊急消防援助隊 （千葉県、山梨県、長野県）	救助工作車Ⅱ型 救助工作車Ⅲ型 中型水陸両用車及び搬 送車 津波・大規模風水害対策 車（水陸両用バギー） 拠点機能形成車 支援車Ⅰ型 支援車Ⅲ型

2 実施状況

御殿場プレミアム・アウトレット
バスロータリー



日本大学生物資源科学部富士自然教育センター



第9 終了式

1 日 時

令和6年11月14日（木）午前10時55分から午前11時15分まで

2 場 所

天城^{あまぎ}ふるさと広場 天城^{あまぎ}ドーム

3 総合指揮者

統括指揮支援隊長（横浜市消防局）

4 登壇者

- (1) 総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室長
- (2) 静岡県副知事
- (3) 伊豆市長
- (4) 静岡県実行委員会（委員長、副委員長）
- (5) 静岡県消防長会会長（静岡市消防局長）
- (6) 駿東伊豆^{すんとう}消防本部消防長（開催地消防長）

5 整列者

- (1) 横浜市消防局統括指揮支援隊
- (2) 相模原市消防局指揮支援隊
- (3) 栃木県大隊（後方支援中隊を除く。）
- (4) 東京都大隊（後方支援中隊を除く。）
- (5) 神奈川県大隊（後方支援中隊を除く。）
- (6) 静岡県内消防応援隊
- (7) 被災地消防本部（駿東伊豆^{すんとう}消防本部）
- (8) 陸上自衛隊（第34普通科連隊）
- (9) 国土交通省（沼津河川国道事務所）
- (10) 静岡県警察本部
- (11) 静岡DMAT
- (12) 認定NPO法人災害救助犬静岡
- (13) （一社）静岡県建設業協会

6 進 行

- (1) 開式
- (2) 訓示（総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室長）
- (3) 挨拶（静岡県副知事、伊豆市長）
- (4) 終了宣言（静岡県実行委員会委員長）
- (5) 閉式

7 実施状況

訓示（総務省消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室長）	挨拶（静岡県副知事）
	
挨拶（伊豆市長）	終了宣言（静岡県実行委員会委員長）
	
整列	
	

